



Rotary



2015-2016 年度

国際ロータリー会長 / K. R. ラビンドラン
2690地区ガバナー / 佐藤 芳郎

会長 / 河原 治子 副会長 / 田中 浩史
幹事 / 清原 正幸 会計 / 田中 久雄

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
3月24日	万九千神社 宮司 錦田 剛志 様	直会とは何か
3月31日	休会	
4月7日	愛宕山 山上 6:30~	早朝例会
4月14日	光人塾 塾長 岩谷 健一 様	光人塾の現状

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	32	13 (4)	78.05%	82.93%

■欠席者

飯塚後 / 恒松 / 加藤喜 / 土江 / 曾田 / 石原俊 / 山口 / 杉原園山 (山根 / 牧野 / 木村 / 石原輝)

■来訪者

なし

■メイクアップ

3/17 堀江・黒田・恒松・福田・原泰・板垣・土江・飯塚大・加藤昇 (家庭集会)

■次回例会受付当番

(4月14日) 小汀泰之 / 園山 繁 / 曾田敏康
(4月21日) 山口 弥 / 杉原朋之 / 高砂明弘

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	4/11	4/18	松江南			
火	出雲	4/5	6/21	6/28(休)	松江しんじ湖	4/12	
水	大社			松江	3/30		
木				松江東	3/31(休)	6/23	6/30(休)
金	出雲南						

■会長挨拶

ヘミングウェイの生き方

世界的文豪ヘミングウェイは米国人である。自分では、私はヤンキーではない！キューバ人である！と云う。長く住み、この土地を好みこの国の人となる。キューバの自由な生活に憧れた。有名な著書は数多くあるが、その文章は簡潔で形容しない。「誰がために鐘は鳴る」「持つもの持たされるもの」「日は又のぼる」「脱出」「老人と海」など。一日中釣りをし、屋からは酒を飲み、沢山の漁師達と又子供ら婦人たちとの話を楽しむ。この人の行動の激しさ、人並みはずれた思考のためアメリカのFBIに睨付けられていたと云う。生きることのほんとうの喜びを追求し「誰がために・・・」以後10年何も発表せず、もうヘミングウェイは終わった！と世間では評判していた。10年後、米国のライフ誌に特集としてヘミングの「老人と海」が発表された。532万部と爆発的に売れまくった。ピューリッツァー賞、ノーベル文学賞を授与された。漁村コヒマルでよく遊び、よく飲み、よく生きた人が、まじめにならない！酒を沢山飲もう！と叫ぶ。泣け！笑おう！誰もがこんな生き方わたいと思ってみるけれど・・・。

■幹事報告

1. 次期地区会員増強・ロータリー財団合同セミナーのご案内
日時 5/14(土) 受付 12:00 ~
合同セミナー、本会議・部門別セミナー 13:15~15:30
場所 米子コンベンションセンター
出席義務者
会員増強セミナー : 会長エレクト・次期会員増強委員長
R財団セミナー : 次期幹事・次期R財団委員長
2. 会費の引落 4月5日 54,000円 (4・5・6月分)
3. 地区大会記念誌配布(登録者のみ)
4. るんぴに「い苑よりるんぴに」新聞78号を頂きました。

■スマイル

森山(出雲南) (今日も職業を通して勉強させていただく機会に感謝致します。よろしくお願ひ致します。)

河原 (錦田様、ようこそおいでいただきありがとうございます。)

森山宗育先生、お茶会のお話を楽しみにしています。)

清原 (錦田様、本日のスピーチ宜しくお願ひします。)

大谷厚 (錦田宮司様、森山様ようこそおいで下さいました。)

錦田様の楽しいスピーチを期待しています。)

佐々木 (錦田様、本日のスピーチよろしくお願ひします。)

森山先生、本日もお世話になります。)

來間 (錦田様、本日はようこそ平田RCへ。いつも大変お世話になっております。本日のスピーチ楽しみにしております。)

小汀 (森山先生、錦田宮司様本日はよろしくお願ひ致します。お話し楽しみです。)

持田祐 (森山様、本日はようこそ。錦田様、本日はスピーチよろしくお願ひいたします。)

■スピーチ・例会行事

「直会とは何か」

万九千神社 宮司 錦田 剛志 様



直会とは神事の後にいただく御神酒や食事のことですが、出雲地方では日常的に当たり前のように入れられる言葉になっています。

神在月に全国から出雲に集まった神々が目に見えない様々なことを話し合われた後、慰労会をされて最後に集まり旅立たれる場所が万九千神社です。

直会という言葉は“なおりあひ”が語源と言われ、神様にお供えした御神酒などを神主が下げ神と人が同じものを食べる(＝なおりあふ、共飲共食)こと、また、祭典という非日常的な緊張状態を解いて日常に戻すこと(解斎、忌みを解く)に由来しています。

全ての神社でお供えする最高のものは、お米からできたもの、すなわち白米・玄米・清酒(御神酒)・餅です。その中で、最も手間暇がかかるものが御神酒であり、酒造りそのものが神秘的な作業であり神事の一環と考えられます。サケは良い言葉で、サ＝斎、ケ＝(御)食を意味しています。祭りは酒造りに始まり、祭典の後、御神酒を飲みほし、直会が終わるまでが神事なのです。

■■■ 第3回「礼儀の心を学ぶ会」 (3月24日) ■■■

講師 出雲三斎流 第二十代家元 森山 宗育 様

